

## 1. ポスター発表

### 1) 発表時間

発表：4分 質疑：2分

### 2) 発表日時

2月8日(土) 12:55～13:40

演題番号	会場
P-01～P-12	3F 第3会場前 フォワイエ

### 3) ポスター貼付

ポスターの貼付は下記の時間内にご自身でお願いします。2月9日(日)の17:00以降に会場内に残っているポスターは事務局にて破棄いたします。

貼付時間	2月8日(土) 9:00～10:00
撤去時間	2月9日(日) 14:30～15:30

### 4) ポスター発表について

- ・ポスター発表受付はおこないません。発表時間の10分前までには、ご自身のポスター前に待機してください。
- ・発表者にはリボンをお渡ししますので、ご発表時には必ずご着用ください。

## 2. 利益相反 (COI) の開示

公益社団法人日本口腔インプラント学会 第44回関東・甲信越支部学術大会での筆頭発表者には、利益相反の有無に関わらず、開示が義務付けられています。

ポスター発表の際、ポスター内部の最下段に「様式2 発表時に使用する様式」を追加して開示してください。

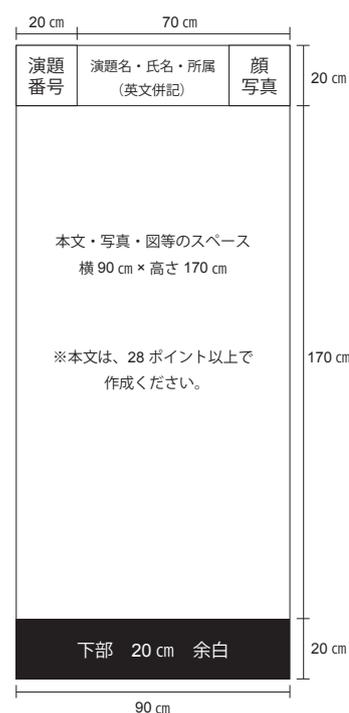
ポスター内部に記載しない場合は、ポスターの下部にA4サイズで貼付してください。

COIの詳細、フォーマットについては、下記の公益社団法人日本口腔インプラント学会ホームページ「利益相反 (COI) 状態の申告について」のページをご確認ください。

<https://www.shika-implant.org/coi/>

## 3. 発表方法

- ・ポスターの掲示可能面サイズは、幅90cm、高さ190cmです。
- ・上部90cm×20cmは、演題番号・演題名・氏名・所属・発表者の顔写真掲示スペースとし、下部90cm×170cmが、本文・写真・図等のスペースとします。
- ・発表内容(本文・写真・図等)は、幅90cm×高さ170cmの範囲で掲示してください。
- ・演題番号(20cm×20cm)は運営事務局で用意します。
- ・演題名、氏名、所属、顔写真(発表者)は各自でご用意ください。なお、下段には演題名・氏名・所属を英文併記してください。
- ・発表者の名前の前には○をつけてください。



12:55 ~ 13:13

## ポスター発表1

座長：岡本俊宏 (東京女子医科大学医学部歯科口腔外科学教室)

- P-01 熱刺激によるインプラント表面の温度変化 —インプラント上部構造の種類が及ぼす影響—  
鈴木梨菜 (日本歯科大学新潟病院口腔インプラント科)
- P-02 重度歯性上顎洞炎を有する患者に対してインプラント傾斜埋入にて咬合機能回復治療を行った1症例  
井汲玲雄 (日本インプラント臨床研究会)
- P-03 口腔インプラント治療および外科的矯正術により原因不明の両側下顎大白歯部疼痛が改善した1例  
竹川貴裕 (山梨大学大学院総合研究部医学域臨床医学系歯科口腔外科学講座)

13:13 ~ 13:31

## ポスター発表2

座長：松田健男 (総合インプラント研究センター)

- P-04 二種類の骨造成法の組織学的比較検討と22年間の経過報告  
遠藤 学 (インプラント再建歯学研究会)
- P-05 内視鏡下副鼻腔手術後に上顎洞底挙上術を行い、インプラント埋入を行なった1症例  
野田康平 (インプラント再建歯学研究会)
- P-06 トラブル症例に磁性アタッチメントで対応した1症例  
大塚福長 (日本インプラント臨床研究会)

12:55 ~ 13:13

## ポスター発表3

座長：佐々木穂高 (東京歯科大学口腔インプラント学講座)

- P-07 コラーゲン製創傷被覆材にてインプラント周囲角化粘膜を増大させた1例と文献的考察  
曾根崇晴 (神奈川歯科大学歯科インプラント学講座 顎・口腔インプラント学分野)
- P-08 インプラント治療後に薬剤関連顎骨壊死を発症し保存的治療を行った1例  
山田明佳 (神奈川歯科大学歯科インプラント学講座 顎・口腔インプラント学分野 / 藤沢市民病院歯科口腔外科)
- P-09 埋入時下顎骨内に迷入したインプラント体を除去して再度インプラント治療を行った1症例  
永田達也 (ユニバーサルインプラント研究所 / 日本口腔インプラント学会関東・甲信越支部)

13:13 ~ 13:31

ポスター発表4

座長：老川秀紀 (公益社団法人日本歯科先端技術研究所)

- P-10 アナログ的手法による中間欠損部サージカルガイド作製における精度向上のための工夫  
泉賢多郎 (インプラント再建歯学研究会)
- P-11 異なるフェノタイプへの即時埋入と軟組織マネジメント  
宮下達郎 (一般社団法人日本インプラント臨床研究会)
- P-12 インプラント残存率の予測における AI 応用の試み  
柴田翔吾 (鶴見大学歯学部口腔リハビリテーション補綴学講座 / 鶴見大学附属病院インプラントセンター)